

生物多様性の保全  
に関心をお持ちの

企業の

CSR・SDGs

推進担当の方

こんなお悩みありませんか？

社有地の緑地や森林が自然共生サイトに認定される可能性があるか？ 知りたい

『生物多様性に関心度が低い』社内関係者の調整は不安…自然共生サイトの申請って難しい？

地元NPOの支援を通じた自然共生サイト登録という方法もあるって聞いたけど、本当？



2022年度自然共生サイト  
試行的取組みで  
申請支援実績があります

まずは  
無料  
相談!!

### 自然共生サイト 申請支援内容

- ▶▶▶ 生物多様性の価値に関する情報の整理
  - 地理情報システムを活用した皆さんの過去の所有データの一元化（専用アプリでスマホ上でのデータ閲覧を可能にします）
  - ドローン空撮による社有地など最新航空写真作製とベース図整備
  - 審査委員対応に向けた…現地調査の実施とデータ取りまとめ
- ▶▶▶ 保安全管理計画、モニタリング調査計画の提案
  - 自然共生サイト申請地における生物多様性の価値を明らかにし、どのように保安全管理すべきかを検討します。その上で、社員の皆さん主導で実践可能な、持続可能・現実的な対策も提案します
- ▶▶▶ 保安全管理、モニタリング調査の実施体制づくりの支援
  - 社員参加自然観察会型のモニタリング調査の企画・運営します（生き物マップづくり、夜の昆虫観察会を兼ねたモニタリング調査ワナを仕掛け水辺の生き物調査などの実績、多数あります）
  - 教育機関、NPO組織との連携体制づくりを提案します

### 私たちが担当いたします



代表取締役

小串 重治

徳島大、中京大、愛知工業大、名古屋産業大などで環境科学、環境保全学などの講義、フィールド演習に係わる非常勤講師も務める。



横浜サテライト

上席研究員 亀山 豊

元国土交通省 港湾技術研究所研究官。生物多様性アカデミー主任研究員も務める。市民科学プロジェクト推進実績多数あり。

GAIA:生物多様性あいち学生プロジェクトの支援実績もあります(2020~2022年度)

関係実績動画



まずは、無料相談 自然共生サイト認定可能性診断にお申込み下さい。



グリーンフロント研究所(株) 444-0071  
愛知県岡崎市稲熊町山神戸7-12



0564-47-7970



office@gfken.com

会社HP



# 自然共生サイト申請の流れ

自然共生サイト申請が決定している方

事前社内調整が必要な方

STEP

0

自然共生サイト認定可能性診断  
【無料(オンライン)/気楽にお声かけ下さい】

STEP 1 ^



自然共生サイトの申請に向けた事前社内調整など

A: 自然共生サイト認定可能性診断

【無料(オンライン)/気楽にお声かけ下さい】

B: A + 自然共生サイト認定可能性診断レポート作成  
【5万円(現地視察を含む)  
+ 交通費実費(岡崎⇄帰社のサイト2往復分)】

C: B + 社内稟議書類作成支援 + 研修会対応支援

【10万円(現地視察・社内説明会対応含む)+交通費実費(岡崎⇄帰社のサイト4往復)】

残念ながら【生物多様性】の認知度・・・高くありません。

【そもそも生物多様性とは?】から、わかりやすい研修もお任せください!!

自然共生サイト申請準備 スタート

STEP

1

現地踏査・ヒアリング・資料収集及び申請支援計画の作成

①申請要件事項の情報収集

a) 申請区域

c) 申請区域の生物多様性の価値

e) 申請区域のモニタリング調査実績

b) 申請区域の土地所有者の意向

d) 申請区域の保安全管理計画

f) 保安全管理及びモニタリング調査体制

②申請支援業務計画の作成

【15万円(現地視察・申請に向けて必要な事項の整理・助言を含む)+交通費実費】  
(※STEP0のB・Cサービスを受けた方は減額)

STEP1で進め方など、ポイント助言後

STEP2以降は、自社スタッフが進めながら、随時、ポイントで指導を行う・・・という形式での支援も行っています

申請時の重要なポイント/4選

①申請区域が確定しているか?

②申請について、土地所有者・管理責任者の同意が得られているか?

③申請区域の情報(生物多様性の価値)を説明する資料は揃っているか?

④管理計画やモニタリング計画は定まっているか?

申請に向けてどんな準備が必要か? 整理・助言させていただきます。

STEP

2

自然共生サイトの保全・管理に向けた現況調査

①現況調査 (関係エビデンスの充実度を踏まえ、御社予算を鑑み提案します)

②申請区域の生物多様性の価値の整理

③申請区域の生物多様性の価値の保安全管理実態と今後の管理のあり方の提案

④申請区域の生物多様性の価値のモニタリング調査計画の提案

【予算は別途、お見積りさせていただきます】

自然共生サイト申請支援業務計画における現地調査計画に基づく繁茂期調査～四季調査が想定されます。

※生物多様性の価値に関するエビデンスが十分にある場合は、生物調査を行う必要がない場合もあります。

STEP

3

自然共生サイト保全・管理体制づくり

一般社員参加型の調査、NPO団体との連携、教育機関との連携などを当該サイトの特徴、地域性をふまえて提案させていただきます。

【予算は別途、お見積りさせていただきます】

弊社の小串はスマホを活用した市民生物調査について取組んで参りました。社員参加型【いきものマップづくり】等の企画・支援致します。

投稿論文



STEP

4

自然共生サイト申請書作成

申請書類一式の代行作成サービス、生物多様性の保全に係わる専門知識が必要な範疇に絞った資料作成サービスなど、ニーズにあわせてサポートさせていただきます。

【予算は別途、お見積りさせていただきます】

2022年度自然共生サイト試行的取組みにおいて2機関の申請支援の実績があります。2023年度前期・正式申請において、3機関から申請支援依頼を受けています(2023年2月10日時点)。

STEP

5

自然共生サイト審査委員会対応

2～3名の審査委員が申請サイトに現地視察に来られた際、同行・学識者対応も致します。最終審査・オンライン会議におけるプレゼンテーションの場でのプレゼン資料作成のサポートも致します。

【予算は別途、お見積りさせていただきます】

認定審査スケジュール(見込み)

【上期】5月申請書提出  
・6～9月審査対応

【下期】9月申請書提出  
・10～1月審査対応

STEP

6

自然共生サイト保安全管理に係わる伴走型支援

認定5年後の更新審査時はもちろん、毎年の活動、モニタリング調査データの整理など、皆さんに伴走しながら、ニーズにあわせた支援をさせていただきます。

【予算は別途、お見積りさせていただきます】

自然共生サイト認定

